

G 8 説明責任報告書要旨（抄訳）

G 8 首脳は、30 年以上にわたり、世界的な緊急課題に対応するため、毎年のサミットにおいて、大胆かつ強力なコミットメントを打ち出してきました。G 8 首脳はこれまでのコミットメントの実施状況について説明責任を果たすべく、G 8 ムスコカ・サミットに向けて本説明責任報告書を作成することとしました。

説明責任報告書の目的は、①G 8 の主要な開発に関連するコミットメントの履行実績を報告し、②G 8 の行動の結果を評価し、③将来においてコミットメントの履行実績を報告するにあたっての教訓を示す、という3つであります。この報告書は、G 8 のコミットメントについての網羅的な評価ではありませんし、国際的な開発目標に関する進捗状況を全世界的に評価するものでもありません。それでもなお、本報告書によりG 8 のコミットメント実施状況についての評価は大きく進歩しました。

全体的評価

本報告書の作成過程においては、G 8 による取組の成果をはっきり示すべく作業を行いましたが、いくつかの困難にも直面しました。第一に、信頼できるデータがいくつかの分野において不足していることです。第二に、G 8 は単独で開発のために行動するわけではありません。パートナー諸国、G 8 以外のドナー、国際機関、NGO、財団や民間セクターはいずれも開発に大きく寄与しており、グローバルな開発の成果とG 8 の取組との相互関係を正確に評価することは困難です。

このため、この報告書においては、G 8 メンバーや国際機関からの情報に基づいて、客観的なデータと事例の説明を組み合わせ、G 8 が開発分野において如何なる成果を上げてきたかが説明されています。

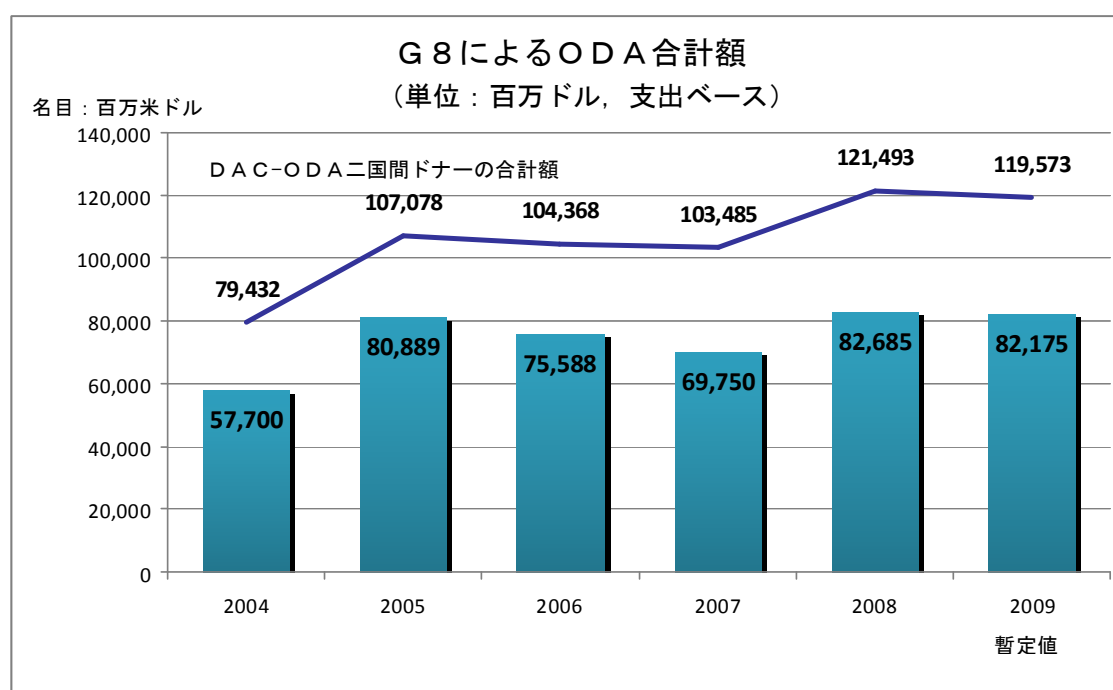
本報告書は全体として見ると、G 8 は途上国の開発問題を改善する大きな原動力となっており、地球規模課題への対応にもプラスの役割を果たしてきたことを説明しています。ただ、G 8 が大きな成功を収めた分野がある一方、さらに多くの努力をすべき分野もあります。

政府開発援助（ODA）の増加

2005 年、グレンイーグルズ・サミット及び世界サミットにおいて、G 8 諸国及び世界の主要ドナーは、ODA の増額を約束しました。こうしたコミットメントに基づいて、経済協力開発機構（OECD）は、OECD 開発援助委員会（DAC）に加盟しているすべての

二国間ドナーのODAは、2004年と比較して、2010年までに年間でおよそ500億ドル増加するとの推計を行いました。

それから5年が経過しましたが、現在のドル価格で計算すると、ドナー全体では500億ドルの目標の5分の4を達成しています（約100億ドルの不足）。2009年には、世界経済危機にもかかわらず、全DACドナーのODAは、2004年の800億ドルからほぼ1200億ドルまで増加しています。その増加のうち240億ドルはG8諸国からのものです。また、2004年のドル価格で計算すると、全ドナーで180億ドルが不足しており、500億ドルのODA目標額まで5分の3のところまで来ています¹。2009年において、G8のODA支出は、世界全体のODAのほぼ70パーセントを占めています。



出典：OECD-DAC及びロシアによるODA統計

注：DAC-ODA合計額はロシアのODAを含んでいない。

G8合計額はEUのODA合計額を含んでいない。

¹ 本報告書は現在のドル価値を使用している。グレンイーグルズ・サミットのG8及び他のドナーのOECD概算は2010年までの500億ドル増加は現在のドル価値か、不変ドル価値かは特定していない。

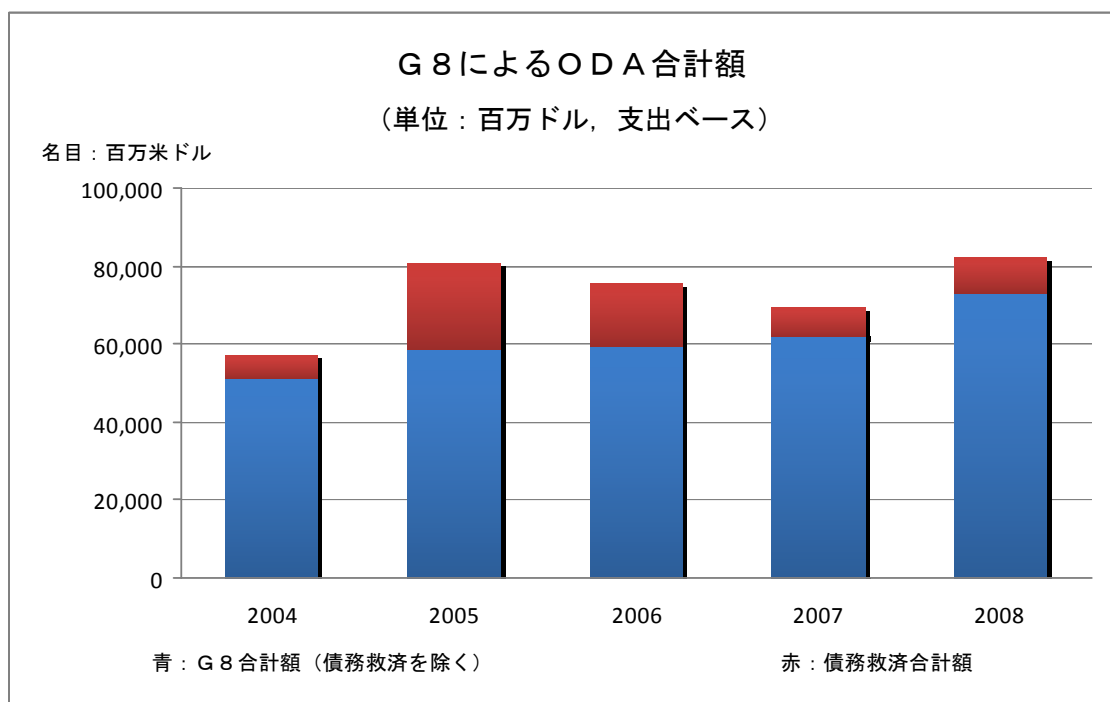
G 8 グレンイーグルズ・サミットにおけるアフリカ・コミュニケ

27. G 8 及びその他のドナーのコミットメントは、2010年までに、アフリカ向け政府開発援助を年間の総額で250億ドル増加させることにつながり、この結果、アフリカ向けの援助額は2004年と比較して2倍以上に増加する。

28. 我々は、我々がアフリカにおける開発上の挑戦に直面しているのと同時に、世界全体が世界的な開発上の挑戦に直面していることを認識する。ドナーのコミットメント及びそのほかの関連の要素に基づくOECDの推計によると、G 8 及びその他のドナーからすべての開発途上国への政府開発援助は、2004年と比較して、2010年までに、年間の総額で約500億ドル増加することが見込まれる。

グレンイーグルズ・サミットにおけるG 8 国別コミットメント

グレンイーグルズ・サミットにおいて、G 8 メンバーは国際援助を増加させるため、国毎にコミットメントを行いました。それぞれのコミットメントの規模、目標、目標期日は異なりますが、現段階で見ると全体としてG 8 メンバーのコミットメントの進捗状況はマチマチであり、目標を達成し、或いはそれを上回ったメンバーもあれば、2010年までの目標に向かって取組を続けつつ、2015年までの目標を再確認したメンバーもあります。



出典：OECD-DAC

注：ロシアのデータは含んでいない。

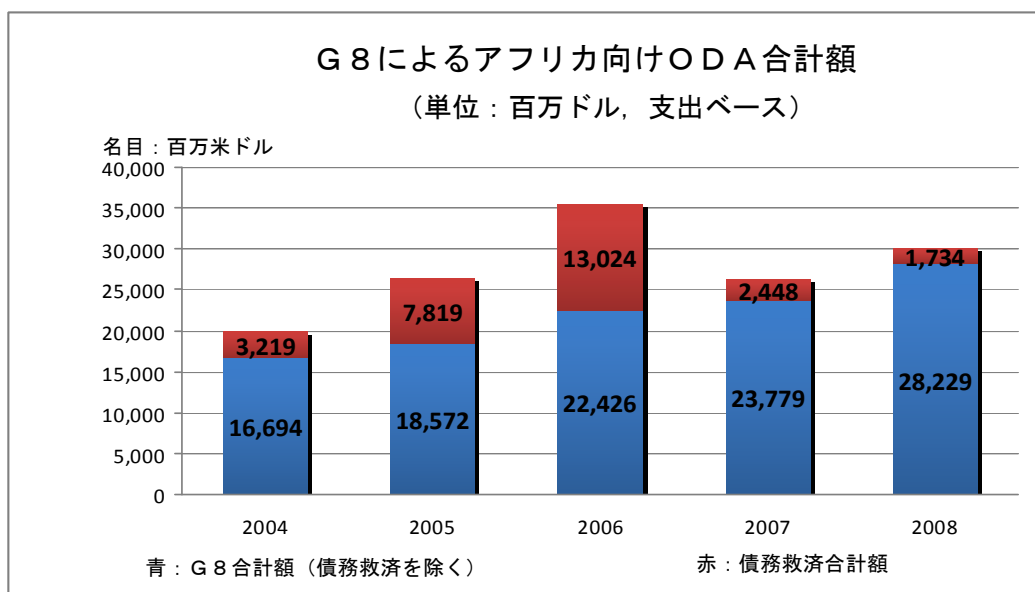
G 8 とアフリカ

10年前、G 8 首脳はアフリカ開発を特に重視していました。2002年のカナダ・サミットはアフリカ行動計画を採択し、G 8 の議題としてアフリカは常に取り上げられることとなりました。アフリカ行動計画は、相互の説明責任と尊重に基づいた、G 8 とアフリカの間の新たなパートナーシップというビジョンを打ち出しました。

この行動計画に基づき、G 8 メンバーは、アフリカのパートナーが社会発展、持続可能な経済成長、ガバナンスや安全保障等の目標を達成するため、アフリカ諸国を支援しています。支援には様々な方法があり、開発援助、債務救済、民間資本の発展の促進、アフリカ製品の市場アクセスと貿易機会の改善、透明性と良い統治のために活動する汎アフリカ機関及び地域機関への支援などが含まれています。

グレンイーグルズ・サミットでは、全ドナーのコミットメントにより、2010年までに対アフリカODAは年間250億ドル増加し、2004年比で対アフリカODAは2倍以上に増えると予想されました。全ドナーの努力にも係わらず、この予測は実現しませんでした。対アフリカ援助は増加しています。

具体的には、2008年には、全ドナーの対アフリカODA支出額は430億ドルを越え、2004年比で150億ドルの増加となりました。その援助額のうち100億ドルがG 8 によるものです。G 8 は、全援助の70%を占め、対アフリカODAの最大の提供者です。2004年以降、G 8 からアフリカへのODA支出は50%増加し、2008年にほぼ300億ドルに達しました。債務救済を除くと、約115億ドルの増加（年額167億ドルから282億ドルへ）となっています。



出典：OECD-DAC

注：ロシアはOECD-DACのメンバーではないため、ロシアのデータは含んでいない。

G 8の開発援助、債務救済、革新的な資金調達メカニズム等の資金提供は、現場での成果につながっています。例えば、G 8の支援により、アフリカ諸国は2008年、約300万人に抗レトロウイルス（ARV）治療を提供し（前年比39%増）、マラリアによる死亡を大きく低下させました。また、4,200万人以上の子どもが新たに学校で学べるようになりました。しかしながら、特に金融経済危機の影響もあり、これまでの取組やコミットメントの継続が求められています。このため、G 8首脳は、ラクイラ・サミットにおいて、開発援助を増加するというコミットメントを果たすことの重要性を改めて確認しました。

個々の開発関連課題についての評価

援助効果

援助の質は援助の量と同様に重要です。援助が成果に結びついていないとの長年の批判に応えるため、また、何をすれば成果につながるのかにつき教訓を得るため、国際社会は、過去10年間に亘り、援助の効果を改善することに強くコミットし、協力を進めてきました。G 8メンバーは、こうした目標を支持し、援助効果についてのコミットメントを実施するための行動計画を導入しました。援助効果に関する目標についてある程度の進展はありますが、さらに援助効果を高めるためには、ドナーと被援助国の双方が、時間をかけて抜本的に変わることが必要です。

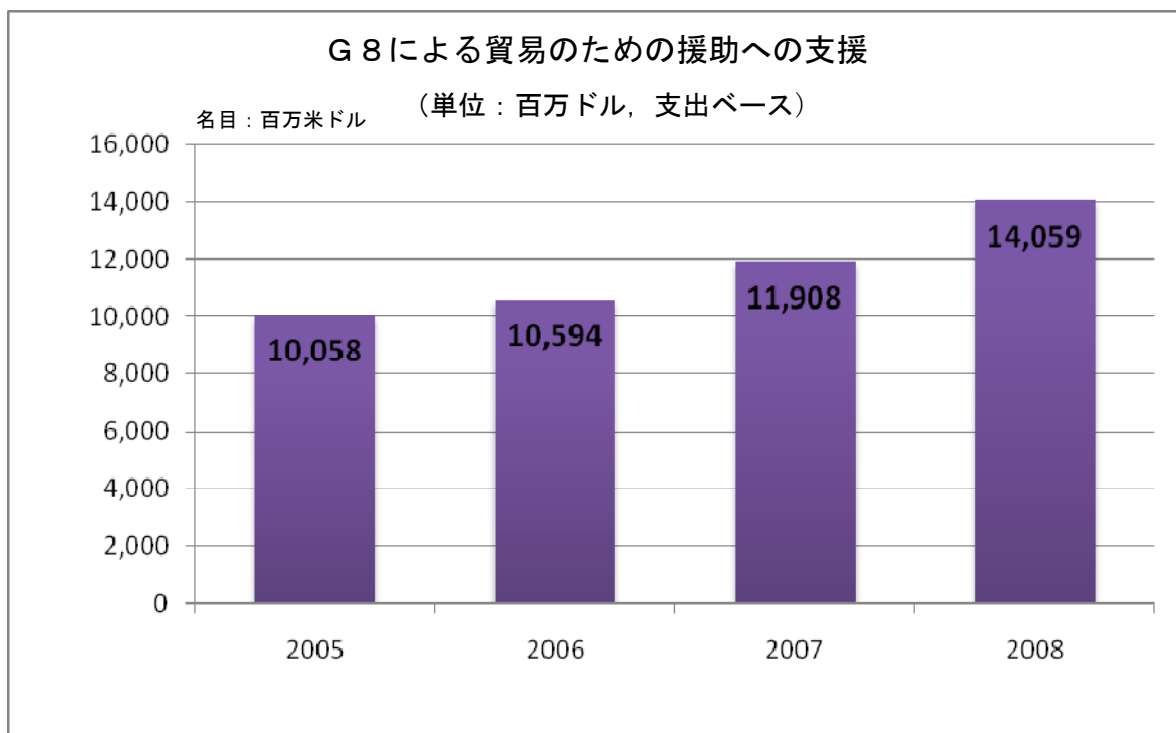
債務削減

巨額債務の負担は国家が必要な投資を行うのを妨げます。G 8は、重債務国のうち、一定の条件を満たす国々の債務を100パーセント免除することを約束しました。G 8メンバーは、巨額の債務を免除し、開発途上国を何十億ドルもの負担から解放してきました。こうした取組は重債務貧困国の債務比率を大幅に削減しており、1999年の114%から2009年の35%に減少させました。しかし、こうしたG 8の努力にもかかわらず、新たな債務の累積が持続可能な経済発展に深刻な課題をもたらしています。

経済開発

G 8は、国際貿易の振興、金融市場の強化、途上国への民間投資奨励等を含む、持続可能な経済発展の促進を目指す政策を推進することを約束しました。

貿易は成長の原動力であり、開発途上国が貿易拡大から恩恵を受けるためには、多くの課題に取り組む必要があります。このためG 8は、最貧国の商品の市場アクセスを改善し、政策、制度等の能力構築のためにリソースを提供しています。しかしながら、アフリカの地域統合や貿易の改善はまだ遅れています。



出典：OECD-DAC

注：ロシアはOECD-DACのメンバーではないため、ロシアのデータは含んでいない。

保健

開発途上国が、保健システムを強化し、基礎的医療へのアクセスを改善し、感染症に取り組むのを支援するため、G 8は多くの重要なコミットメントを行ってきました。G 8諸国は、新しいワクチンを開発し、感染症治療へのアクセスを提供するため、多くのパートナーシップと革新的資金調達メカニズムを立ち上げ、実際に具体的な成果を上げ始めています。

G 8は、世界エイズ・結核・マラリア対策基金（以下「世界基金」）の設立に寄与しました。G 8の世界基金への出資は同基金への総出資金の78パーセントを占めています。世界基金は、144国での様々なプログラムを支援していますが、そうしたプログラムは推定490万人の命を救い、250万人にエイズ治療を、600万人に結核治療を提供しました。こうした成果にも関わらず、アフリカ地域を始めとして、依然として課題が残されています。

例えば、多くの資金が投入され、かなりの進展があったにもかかわらず、ポリオは未だに根絶されていません。また、母親の死亡率は高止まりしており、34万人から53.6万人の母親が死亡しているものと推定されます。また、世界的に乳幼児死亡率が低下する一方で、サハラ以南のアフリカにおける乳幼児死亡者数は1990年から2007年の間にほぼ40万人増加しました。

水と衛生

安全な飲料水と基本的な衛生施設へのアクセスの不足は、世界の途上国において人々の健康を脅かし続けています。２００３年のエビアン・サミットで採択された「水に関するＧ８行動計画」は、この問題についての国際社会の関心を高め、政策の改革を促進しました。今日においても、同行動計画は水と衛生に関する諸問題に対処するための枠組みとして有益です。２００９年の「ラクイラ・水と衛生に関するＧ８－アフリカ・パートナーシップ」は、継続中のパートナーシップを強化しています。Ｇ８諸国は、２００２年から２００８年にかけて水と衛生の分野において１８０億ドルに上る援助を行い、そのコミットメントを実施してきました。

食料安全保障

２００８年の食料価格の高騰は、多くの国の食料安全保障を脅しました。北海道洞爺湖サミットにおいて、Ｇ８は農業投資の減少を反転させることを目指して多くのコミットメントを行いました。２００９年、ラクイラ食料安全保障イニシアティブ（AFSI）が立ち上がり、持続可能な農業開発に向けてＧ８及び他のドナーは２００億ドルを動員することにコミットしました。このイニシアティブは、ドナー、パートナー国そして国際機関を、共通の目標と共有されたアプローチのもとに団結させる触媒としてＧ８が重要な役割を果たしていることの実例です。

教育

カナナスキス・サミットにおいて、Ｇ８は、教育における目標達成の促進及び援助効果向上を目的とした国際的なパートナーシップである「万人のための教育－ファスト・トラック・イニシアティブ」の設立を主導しました。今日、Ｇ８は、より効果的で成果重視のパートナーシップを促進するために、ファスト・トラック・イニシアティブの改革を支援しています。Ｇ８は、初等教育及び中等教育の就学人数の増加等、教育における大きな進展に貢献してきました。他方、世界金融危機の影響もあり、特にアフリカの一部では、まだ課題が残されています。

ガバナンス

汚職との闘い、法の支配、議会による監視、市民社会の関与、国家と社会の建設的な関係の強化はいずれも、良い統治を促進するための重要な要素です。Ｇ８は、汚職対策、金融取引における透明性の向上などガバナンスの改善のための様々な対策を支援してきました。

平和と安全

Ｇ８は、アフリカを始めとする途上国の紛争予防・解決能力を強化するために主導的な役割を果たしてきました。また、アフリカの平和と安全能力の向上を目指すアフリカ自身の努力を多額の資金を投じて支援するとともに、紛争後の復興や元兵士達の再統合の促進を目指

すプログラムを支援しています。G 8 の支援の直接の成果の一つとして、アフリカ連合主導の平和支援活動の効率化が挙げられます。

環境及びエネルギー

コペンハーゲン合意においては、先進国が、2010年から2012年までの期間に300億ドルに近づく資金支援を、適応と緩和にバランスをとって配分することをコミットしています。また、コペンハーゲン合意は、意味のある緩和のための行動及び実施の透明性の文脈において、先進国が2020年までに公的な及び民間の資金源から毎年1000億ドルを調達するという目標をコミットしています。G 8 メンバーは、多国間適応基金への資金拠出を含む様々なアプローチを通じて、これらの国際的なコミットメントに対応しています。

生物多様性に関しては、G 8 メンバーは資金動員や生物多様性に関する研究、モニタリングそして科学的評価のためのメカニズムの開発への取組を通して、生物の多様性を守るために貢献しています。世界的に生物多様性の損失速度を顕著に減少させるという国際的に合意された目標の達成に向けて進展は見られるものの、2010年には目標は達成されない見込みです。

将来の展望

G 8 は、地球規模の開発課題に対して信頼できる対応策を策定する能力があることを示してきました。また、ミレニアム開発目標（MDGs）の達成は国際的な責任ではありますが、G 8 の行動とイニシアティブは大きな役割を果たしてきました。しかし、2015年までにMDGsを達成するためには重要な課題が残っています。変化する国際情勢の中でG 8 の役割も進化を続けており、特に2010年9月のMDGsに関する国連首脳会合の準備に向け、G 8 は強いリーダーシップを発揮し続けなければなりません。

G 8 は、約束が遵守されていることを示す説明責任があり定期的、明確かつ透明性のある報告をすることが最初の重要な一歩です。今後も、G 8 が、コミットメントを形成し、実施し、監視し、報告する方法の改善を続けるべきです。また、適切な場合には、明確で、透明性があり、期限を明確に定めたコミットメントを形成するべきです。このような測定可能な目標は、将来において、結果を評価し報告を行うための指標にもなります。

重要なコミットメントに対するG8進捗状況の概略

コミットメント	進捗
国際支援	
G8の政府開発援助（ODA）の増加	2004年から2009年にかけて、G8のODAは240億ドル増加し、すべてのDACドナーからのODAのほぼ70パーセントを占めている。 2009年、G8のODAは合計821億75百万ドル
援助額を増加するとのグレンイーグルズの国別コミットメント。規模、目標、目標期日は国毎に異なる。	目標を達成し、或いはそれを上回ったメンバーもあれば、2010年の目標に向け取組を続けつつ、2015年までに達成する目標を再確認したメンバーもある。
G8によるアフリカ向けODA	2004年～2008年、G8からアフリカへのODA支出は100億ドル以上（50%）増加し、2008年の対アフリカ支援は300億ドルに。
債務救済の供与	2005年から2008年にかけて、G8は合計540億ドルの債務救済を実施。
経済開発	
2010年までに貿易のための援助を40億ドル増加させる。	2008年、G8による支援は140億ドルとなり、50億ドル以上がアフリカに向けられた。
保健	
感染症対策及び医療保健システムの改善のために2012年までに少なくとも600億ドルを出資する。	2008年の保健向けODA支出は120億ドルとなり、G8は目標に向け順調に進んでいる。
2010年までに、対マラリア殺虫処理済みの蚊帳を1億帳供給する。	2010年に殺虫処理済みの蚊帳を1億帳以上供給すべく、G8は順調に進んでいる。
世界エイズ・結核・マラリア対策基金への支援を動員する。	2001年から2009年にかけて、欧州委員会を含めたG8による世界基金への拠出額は122億ドル、世界基金への拠出総額の78パーセントを占めている。
世界ポリオ撲滅イニシアティブへの支援	2005年から2009年にかけて、G8から本件イニシアティブへの拠出は16.8億ドルで、G8は2010年から2012年にかけて、合計2億8740万ドルをコミット。

食料安全保障	
持続可能な農業開発のためにG8及びその他のドナーから200億ドルの資金を動員する。	• ラクイラ食料安全保障イニシアティブは、G8およびその他のドナーからの支援として220億ドル以上の約束を確認、そのうち60億ドルは現行のコミットメントを超えた増加資金。
平和と安全	
2010年までに、平和支援活動に参加させるために7万5千人の兵士を訓練する。	• G8は7万5千人以上の兵士を訓練。

注記

1. 特に断りのない限り、この報告書は暦年、米ドル（名目）、支出額ベースに基づく。
2. この報告書では「G8メンバー」はG8の8か国及び欧州委員会を指す。いくつかの事例では、コミットメントはG8諸国のみによって行われており、それに従って報告される。